

令和6年度 中央区地域活性化支援事業「みんなで創る中央区づくり」

団体名：フェスのまち蘇我実行委員会

<中間報告>

2024年10月31日(木)

1. 活動主旨

日本一の野外音楽フェス「ロック・イン・ジャパン・フェスティバル」が私たちのまち蘇我にやってきて2年。2017年から続く「JAPAN JAM」と合わせ、蘇我スポーツ公園での音楽フェスが定着しつつあります。（約40万人来場）

そこで、私たちは同イベントを受け入れ、楽しむだけでなく、地域の諸団体、機関、人と連携しながら、同イベントを活用した、まちの活性化に取り組むことで、地域づくり、人づくりにつなげていきたいと考えております。5年10年と流れを創造していくことで、このまちの成長・発展につなげます。

2. 目的（解決したい地域活動など）

日本一の音楽フェスで、全国各地から約40万人の若者が蘇我のまちを訪れていますが、地元住民の関りは薄く、歓迎やおもてなしの気持ちが乏しい。

蘇我のまちは、川鉄工場の街から京葉線の開通で一新し、新興住宅・マンションが建ち、3世代の世帯が地域の為に子どもたちの為に活動している方々が多く、子どもも大人も活躍できるような機会を創出できるポテンシャルがあるまちです。

一緒にチャレンジする仲間がいることで、想いが行動に繋がり、連鎖を生むために、私たちは一人ひとりが自身の思いを持ち、行動していける、そんな地域コミュニティづくりを行っていきます。

3. 事業概要

音楽フェス（ROCK IN JAPAN FESTIVAL）の主催者と連携し、フェスのまち蘇我実行委員会を3つの部会に分けて、具体的に活動します。

- 1) 環境整備部会・・・ 実行委員会の認知度UP
- 2) 体験ツアー部会・・・ フェスへのファンづくり・人材育成
- 3) 地域連携部会・・・ 地元の自治会との連携

スローガンは「子どもも大人も、ワクワクすること」「楽しいことに挑戦できる！生き生きと生活ができる！」として、実行委員会は様々な活動に取り組みます。

4. 当該年度の目標/対象地域

対象地域：蘇我中学校区を対象に活動

（約24,000世帯 50,000人）

年度目標：

- ・地元開催のロックフェスのファンを増やす。
- ・「おらが町のイベント」という意識を醸成する。
- ・活動を通して、地元連携、人材の発掘や育成。

5. 取組み内容 I

①体験ツアー部会報告

計画	中間報告
・地域の方にフェスを体験し、蘇我のまちに愛着を持ってもらうツアー ・1回2時間コースを1日2回実施	・実行委員会だけでなく、学生のボランティアを募り、体験ガイドの体制を構築。（Tシャツも作成） ・募集は、蘇我中学校区の小学校と連携して、すぐで体験ツアーを募集。 実行委員会用 学生ボランティア用

5. 取組み内容 I ①体験ツアー一部会報告-2

●体験ツアー実施日時

8/3・8/4・8/10・8/11・8/12 16時00分～
(所要時間 2 時間)

●体験ツアー実施実績

応募総数 **1029名** (成人556名 未成年473名)

当選者数 **395名** (成人209名 未成年186名)

●実行委員24名/学生ボランティアガイド30名

『ぼうけんノート』

子ども向けに楽しくわかりやすく体験ツアーができるよう学生ボランティアガイドが作製しました！ 広げると裏面は会場地図になる優れもの。参加して下さったみなさんへフェスの魅力を精一杯お伝えしました！！



取材新聞社

- ・千葉日報
- ・読売新聞
- ・ちいき新聞
- ・神谷市長



5. 取り組み内容 I

②環境整備部会報告

計画	中間報告
・来訪者に提供できるMAPづくり ・蘇我コミュニティセンター、宮崎公民館等のPR展示（体験ツアーレポート） ・蘇我駅から会場までの導線の環境整備 （例：Welcomeボード、フラッグ等）	蘇我コミュニティセンター、宮崎公民館でPR展示を実施。蘇我コミュニティセンターでは、歴代のポスターを取り寄せ、特別展示にして頂きました。 実行委員会アピール 歴代ポスター展示

5. 取組み内容 I

③地域連携部会報告

計画	中間報告
・フェスの参加者に歓迎隊としてお出迎え ・清掃や商店会にも歓迎協力を行う。	・地域の自治会長に、実行委員会への理解と認知のため、自治会会長を招待し、ガイドツアーを実施。 ・フェス開催時に関連する地域の町内会お祭り協力  今井盆踊りに「盛り上げ隊」協力   自治会町と 実行委員会 との交流・ガ イドツアーの 実施

6. 取り組み内容Ⅱ

【広報の方法、発信先】

計画

- ・蘇我中学校区（蘇我中、蘇我小、宮崎小、大森小、大巖寺小）、蘇我中学校区町内会
- ・蘇我中学校区内の学校（PTA等）を通して、体験ツアー参加者の募集
- ・蘇我コミュニティセンターや蘇我地区の公民館の掲示板や各町内会の掲示板等への体験ツアー参加者募集案内の掲載
- ・SNS（FaceBook等）を活用した広報も検討

中間報告

- ・蘇我町内会の会報誌に掲載。
- ・蘇我中学校区の小学校への協力依頼（報告）
- ・ホームページ立ち上げ、SNSでの発信。

フェスのまち蘇我実行委員会

Home | About us | Event | Join us | Contact
トップページ | 私たちについて | 活動報告 | 募集 | お問い合わせ



ホームページ
インスタで発信

あとかき
広報部員は全員が仕事を持っています。休みが合わずなかなか全員揃うことができません。パソコンがあればなんとかなる仕事ですが、それでも会えれば「やっぱり会って話したほうがいいね」コロナ後、人と会う温かみを感じるこの頃です。
今後ともよろしくお願いいたします。
広報部一同



フェスタのまち蘇我実行委員会
スタッフの皆さん

は「蘇我が全国区のまちになりうれしい!」「蘇我の町を誇らしく感じる!」「フェスがずっと蘇我で開催してほしい!」などなど、多くの声を頂いたとの事でした。蘇我の町は若者が住みたい明るい未来があると感じました。

6. 取組み内容Ⅱ 【次年度に向けての準備（資金面・実施体制など）】

- ・毎年4月、5月に開催されるJAPAN JAMにおいても、Rock in Japan Fesと同様の企画を拡充し、蘇我のまちの魅力づくりの参加者を拡大する。
- ・体験ツアー実施から、主催者と連携して、地元企画との融合などさらなる企画も検討する。
- ・「未来創造」部門として、新規イベント企画、スポンサーなどの団体アプローチを行う。
- ・補助金だけでなく、今後はクラウドファンディングや我々自身が収益を上げられる仕組みを検討。

7. 実施スケジュール（実施済）

- 企画準備 : 2024年4月～
 - ・実行委員会体制整備（コアメンバー決定）
 - ・実行委員会の役割とスケジュールの確率
 - ・実現に向けた具体的タスク管理
 - 広報の時期 : 2024年5月～
 - 事業実施 : 2024年5月～2024年8月
 - 5月：環境づくり、地元地域整理、体験ツアー準備（ツアー詳細検討、ガイドの募集～育成）※ガイドは学生など若者も入って実施
 - 6月：蘇我コミュニティセンター、宮崎公民館などP R活動開始/体験ツアーの募集開始/商店会と協力したM A P作成等
 - 8月：Rock in Japan Fesでの体験ツアー実施
- 地元地域整理として、蘇我駅から会場までの導線の整備やおもてなし対応について実施

8. 協力関係団体など （継続）

【現在の協力関係団体とその内容】

- （株） ロッキング・オン・ジャパン
 - └ 取り組み実現に向けて、引き続き協議を継続。
 - ※その他協力会社や支援企業など検討。

【今後、協力を計画している団体とその内容、及び現在の働きかけ】

- 蘇我駅東口商店会
 - └ フェスを通して、全国から参加のため蘇我のまちを訪れる方へのアピールなど、商店会の活性化を図る。
- 第9地区連、近隣の町内自治会
 - └ 実行委員会の活動趣旨を説明し、活動への理解、応援を要請。

9. 応募する活動・事業の終了後と補助対象期間終了後の取り組み

- ・この地域を誇りに思う若者が増える。
- ・地域内の各種団体が繋がり、地域課題を共有、連携し共にに解決していけるようになる。
- ・引き続き、対象地域を広げ、ロックフェスを活用しながら人材の発掘、育成を図る。
- ・地域内の各種団体と交流を図り、地域課題を共有・連携できるよう取り組む。

10. 次年度・次々年度の取り組み

	次年度（2025年度）	次々年度（2026年度）
取り組み内容	- 初年度の実施状況を踏まえ、実施企画終了後にワークショップ等を開催し、次年度の実施内容の充実、拡充に取り組む。 - 次年度は、JAPAN JAMにおいてもRock in Japan Fesと同様の企画実施と併せて、<u>主催者との関係を密に、新たな企画で更なる参画者を拡大し、寄付金も募る。</u>	- JAPAN JAMとRock inJapanFesの2つの音楽フェスを活用した、企画実施の<u>安定稼働に併せて、実行委員メンバー、学生ボランティアの拡充と魅力づくりの参画者の更なる拡大を図る。</u> - また、諸団体との連携事業の多角化、市との連携も行い、実行委員会としての活動を確率させ、クラウドファンディングなど運営資金も募る。
スケジュール	事業運営：令和7年4月～8月 ワークショップ：令和7年10月～12月 企画準備：令和8年1～3月	事業運営：令和8年4月～8月 ワークショップ：令和8年10月～12月 企画準備：令和9年1～3月

収支予算書

※説明は省かせていただきます

最後に・・・

「蘇我」……「我、蘇り」

このまちに来てみんな元気に。

このまちのコミュニティも人も元気に。